

実施期間 2020-2022
 実用化開発場所 いわき市
 連携自治体 -

冷陰極X線管を用いた移動型デジタル式汎用
 一体型透視装置 OI-Vision システムの開発

PIXRON JAPAN 株式会社

冷陰極X線管を用いた、小型で移動可能な 高機能CT装置を開発する

開発中の移動型デジタル式汎用一体型透視診断装置 OI-Vision システムのX線源部に冷陰極X線管を用い、より小型で操作性の高い移動型デジタル式汎用一体型透視診断装置の国内製品化を実現します。



代表取締役社長
 中島 秀敏

開発背景

現状のX線透視装置には、患者への照射時間も長いため被曝量への懸念があります。本開発装置によって、ナビゲーションワークステーションと連携することで、被曝量を軽減し、適格な手術のシミュレーションの実現が可能となります。

実用化開発の目標

実用化時期	令和5年度(2023年度)
販売製品・サービス名	「OI-Vision」
成果物(最終年度)	「OI-Vision」の薬機認証取得
創出される経済効果	実用化後、販売代理店頂き、全国エリアでの販売を目指します。社内にサービス本部を設立し、社内常駐の技術者の雇用も見込んでいます。

開発のポイント

要素技術	・高解像度の撮像を実現する冷陰極X線管を用いた診断装置開発技術
開発のポイント	日常の状態に近い立位状態での撮影や、GANTRY ポア径の拡張により、ナビゲーション手術への対応も可能となります。

浜通り復興に向けたメッセージ

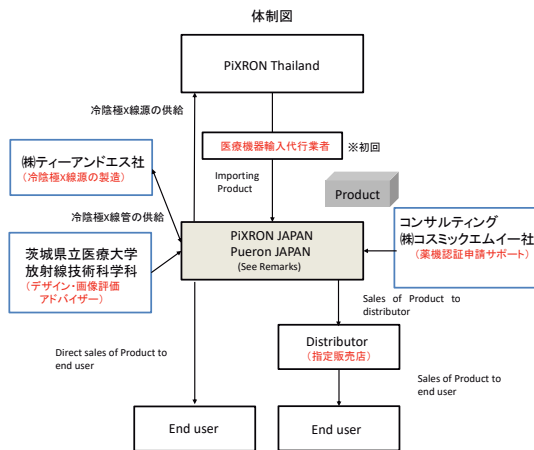
今まで高額で据付式であったCT装置を小型で移動可能な高機能CT装置を普及させ、いわき市から様々な医療現場に貢献したいと考えております。

浜通り地域への経済波及効果

雇用数	実績	1名(うち、地元雇用者1名)
	今後の予定	2名(うち、地元雇用者2名)
地元企業との連携	拠点立地件数(立地場所)	-
	R&D・開発	冷陰極X線管を搭載した移動型CT装置の開発
	資材調達	-
	製造	-
	販路開拓	オルパヘルスケアの子会社である地元企業のサンセイ医機社とアライアンス済み

これまでに得られた成果

成果品・試作品	・GANTRY 開口部φ400mm(熱陰極X線源仕様) 部位限定CBCT 試作機 ・冷陰極X線源装置単体ユニット試作機
知的財産権	-
開発技術	・カーボンナノ構造体CVD成膜技術を用いたCT装置仕様に設計製造された冷陰極X線管
自治体との連携実績	-
代表的な企業との連携実績	-
メディア露出や受賞歴	-



連絡先

PIXRON JAPAN 株式会社 |
 福島県いわき市内郷高坂町四方木田145番1
 ☎ 0246-38-7146 (担当: 中山幸久)
 ✉ y-nakayama@pureron.co.jp



投資規模 1億円未満
 開発人数 10名未満
 販売時期 令和6年度(2024年度)
 販売形態 ・「OI-Vision」として機器販売 ・保守サービス業務の提供
 販売見込先 医療施設5件
 協業希望先 X線源装置製造企業